

会 議 録

会 議 名	市長とまちなかミーティング
開 催 日 時	令和元年 9 月 27 日（金）午後 5 時～午後 6 時
開 催 場 所	南九州市商工会知覧支所
出 席 者	市長，副市長，商工観光課長，総務課（課長，行政係），南九州市観光協会（以下「市観光協会」という。） 8 名 計 13 名
会 の 概 要	1 開会の挨拶 2 出席者の紹介 3 団体の紹介 4 対話のテーマ (1) 事務局長の配置について (2) 活動に係る財源確保について 5 市長からひとこと 6 閉会
議 事 の 要 旨	4 対話のテーマ (1) 事務局長の配置について (2) 活動に係る財源確保について 専属の事務局長設置は，皆さんが同じ気持ちで一緒にやっていくのだということでありがたいと思っている。来年 4 月から設置できるよう，3 月議会に議案として提出できるようにしたい。 3 年後の法人化を目標に，後は委託事業も受託しながら自主財源でやっていけるような体制にしていただければとは思ふ。それまでは，予算について市も内容を精査しながら協力できるよう努力する。 まずは観光客を増やしていくのが市観光協会の努めであると思うので，それを第一目標に，組織として動ける人材を確保しながら，市観光協会の仕事とはこうなのだという意識でしっかりとやっていただきたい。
会 の 内 容	
1 開会の挨拶	略
2 出席者の紹介	略
3 団体の紹介	略

4 対話のテーマ

(1) 事務局長の配置について

会長)

市観光協会は、市の合併と同時にできましたが、それらしい活動ができていないのが実情です。3地域で独自にイベントなど活動をしています。商工観光課長が市観光協会の事務局長としてなっただき、市におんぶに抱っここの事務局なのです。これではまずいなということで、早く専属の事務局長を設置して、その方を中心に3つの観光協会を束ねて独自の活動をやりたいということで、このような会を設けていただきましたので、市長にぜひお願いをして、事務局長設置、については財源が一番なのですから、それをお認めいただければと思っております。

市観光協会)

当初市の合併当時にきちっとした形を作るべきだったのかなと。それが今まで伸ばし伸ばしになって。それなりに観光事業については、わたしは頼りなななんですけど、民間団体や個人でと動いてくれています。市観光協会となると、事務局長が市役所の中にいて行政の方というのはいかななものかなと。言えること、できること、できないことが多かれ少なかれあると思うのです。商工観光課は、観光だけでなく商工という部門も見てるので、それは不自然かなと。とにかく我々の事務局長及びそれに関わる体制をしっかりつくっていきたい。事務局長という要の人がいないことにはダメかなと思うところです。

市観光協会)

3町が合併して市観光協会ができました。ですが、なかなか市観光協会として活動ができていない。なんとかしないといけないということで、企画部会長というのを市観光協会の中でさせていただいているんですけど、それで5年前に1度どうやって合併を本格的に進めるかということで、まずは合併時の予算書、決算書、合併時の事業計画書と事業報告書をつくって南九州市全体の活動を把握することから始めましょうということで提案しました。ところが、これがなかなか進まない。しかたがないので2年前にももう1回、同じ提案をしました。だけど2年間そのまま。なぜかというと事務局を商工観光課ばかりにしている関係で、観光協会の仕事だけに没頭することができないのです。事務的な仕事よりも先ず目の前にある実務をこなすことが先になってしまうので、こういう事務的な手続とかいろんな体制を整えるという仕事が進まないのは実情。このまま市観光協会の体制を続けていったら、結局同じことの繰り返しになるのか

など。要するに部署異動があるので、5年前、下手したら2年前の話も知らない。今はじめて聞きました、それはどうしたらよかったのですかと聞きかねない。それならプロパーを配置して、その仕事をしてくれる人が一人いてくれたら、あれはこういうことだったですよ、こういう風に進めていかないといけないですよとスムーズにしていだけるので、事務局長を置いていただきたいという第一の理由です。今後いろんな活動をしていきたいとするなかで、商工観光課の方も仕事として市観光協会のことだけをしているわけではないのです。市観光協会からあそこに、ここに出てもらいたい、あれをしてもらいたいというのを全てしてもらおうというのはほぼ不可能です。そんなときに市観光協会のそういうことをこなしてくれる、先頭に立ってくれる人がどうしても必要になってくる。1年後、2年後、3年後を目指して、3年後どういう市観光協会にしていくのか、どういう活動をしていくのかということをしつかり計画をしながら、そこに向かって市観光協会をコントロールしてくれる人がいないと何時までたっても今のままの状態になってしまう。そういう点から事務局長をぜひ設置したい。ただ今のところでは我々の力では設置する力がないので、市役所から助言をいただいたり、お助けいただいたりできないかというところですよ。

市観光協会)

事務局がないということが1点どうなのかなと。土曜、日曜に電話しても出ないと。どこに電話をするかといったら、岩屋公園であったり、道の駅であったりとかで市のよかところを紹介していく状況にあると聞いているので。ちゃんとした事務局、事務所があったほうが今後の市の観光事業には必要なところかなと感じているところです。事務局を置くイコール今後においては自主財源というか利益が増えるような、何かでか満たすようなビジョンをもって市観光協会としても次のステップに上がっていくような、自主財源を確保できるような事業にもっていければなと思っております。いきなりは財源も先が見えてはいないので、行政の方から正式に立ち上がるまではご協力いただきたいところです。

会長)

結局は、市長もよくお分かりだと思うのですが、なにせ先立つものがないという問題がある。ゆくゆくは一般社団法人みたいな、隣の南さつま市や指宿市のようにもっていき、先ほどから出てきている自主財源を、自分たちで掘り起こして確保して事務局長の賃金を自分たちで払えるようにはなっていきたい。事務局長1人では組織が回らないので、臨時の職員を入れたりもしていきたい。事務局の場所も確保しなければならないです。

ど。とにかく事務局長を設置して、その人を中心にして、早めに3年後、5年後を考えていかないといけないのではないかなと思うところです。10年、20年前は何もせんでも知覧では武家屋敷とか平和会館に人が来ていたけど、時代とともに競争も激しくなりますし、いろいろ工夫をしながらやっていかないと入込客数の減少となる。南九州市で70万人ということですので、これを早く150万、200万人台に盛り返すためには事務局をしっかりとしたものにしてやっていかないといけない

ぜひとも事務局長設置をサポートしていただければと。1～2年間は市の方に財源をご負担いただくことがあるかと思いますが、それからは自主財源でやっていけるようにとは考えているところです。

他市の観光協会とそんな色ないような形でやっていくためにも、来年の4月くらいからは事務局長の設置ということで、市のご理解をいただきたいところです。

市長)

担当課からも聞いておりましたが、皆さんがそういう気持ちになっていただき、一緒にやっていくのだということはあるかと思います。事務局長をたてて事務局をどこかに置いてということで、財源を市としてもどの程度いるのか即答はできないのですが、中身を精査いただいて協議をしていただいて、一緒になっていただくという方向でいってもらえたらいいと思っております。あとは予算を市も協力できるように努力をいたします。ただ中身の精査をしていかないといけないのではないかと思います。それはそれでやっていくということで。市も努力をしていきます。

今思ったのですが、知覧も収入の割には経費がかかりすぎて、観光客が多いのは知覧、観光協会の収入が多いのも知覧なわけですが赤字になっていると、今はですね。その辺りを考えながら運営していただいて。こっちも全部赤字分を出せといわれても厳しい話ですので、協議をしていながら赤字分を減らすというやりかたもやっていかないといけないのではないかと思います。他市の観光協会がいろんな事業をやっているの、市観光協会も体制ができればしていただいて。結構なことですので。

私が一番思っていることですが、何か事業をやるのに市がやるのは一番高くつきます。市役所の人件費は高いので、その辺りを観光協会が、また関係団体がやっていただくのが人件費も抑えられてベターだと思うのです。どちらにしろ、市観光協会としてみんなで一緒にやるというのはいいことなので早速協議をしていただいて、できれば議会を経てしないといけないので、3月議会に出せるように議案を提出し、4月からそういうかたちでやれたらいいのではないかと思います。

会長)

事務局長が決まりさえすれば会費も統一していかないといけないでしょうし、3町にあるイベントは残しながら、地域イベントは各支部を中心にしていただくと。自主財源を確保して、利益を出せるような市観光協会を考えております。市の職員が30人も50人も出て従事するより観光協会の方であれば市の経費もずいぶん減るでしょうし、4月からはそういうスタイルでやれるようにと思います。3月議会と言いましたが、市長が変わって白紙になってしまったとなれば何のための話し合いかわかりませんので、ぜひ3月議会を通していただきスムーズな市観光協会の事務局長選任が、組織がしっかりできるようにご配慮いただければと思います。

副市長)

市長の考え方は、市の観光協会として一本化していただきたいというのは前々からいっておりますが、そういう中で事務局、事務局長が必要であるというのは理解できますけど、最終的には法人化していくべきだと思うのです。その辺については、2年後3年後だろうが法人化をして、市としても法人化されたような受け皿があれば、いろんな事業で観光協会が受けてくれないだろうかというような委託事業が出てくるのではないかなと個人的には思っているのです。そういうのを含めて自主事業でやっていけるような体制をつくっていただきたい。例えば、市観光協会の中に特産品部会とかそういうものまで含めて市観光協会ががっちりとした組織としてやっていただければ、市からの委託事業もいろんな事業が出てくるかと思えますので、事務局長のことについては担当課長といろいろ検討していかなければならないですけど。例えば、3年間は市がお手伝いさせていただきますけれど、それまでには法人化していただいて、後は自分たちの自主財源でやっていけるような体制にしていいただければと思うのですが。

会長)

それはもちろん、市にお力添えいただいて事務局長を設置して、近隣の一般社団法人化している観光協会のように、3年後には法人化して色々な委託事業を受けて利益を出していくという気持ちは持っています。

市長)

まずは観光客を増やしていくのが市観光協会の努めであると思います。法人化して委託事業とか出てくるかと思えますけど、観光協会の仕事とはこうなのだという意識で観光客を増やすということを第一目標にやっていただきたい。

私もそれをなかなか、自分たちの考えではできないところもありますけど、番所や磨崖仏に手を入れているところです。武家屋敷の辺りももう少

し手を入れられればと、皆さんとやっていければと思います。市だけがやっても効果がないと思っております。

会長)

現在、このようにご理解のある市の執行部ですので、この体制を維持していただきながら、3年後には法人化を目指していければと思います。

事務局長設置も、観光に詳しい、行政ともパイプがあるような方をお願いして、行政との橋渡しもしながら会員相互をまとめていただくような方を選任していきたいと考えておりますので。10年後も面倒見てくれとは言いませんが、最初の2、3年くらいは事務局長の設置費用といいますか、それを市の方でお願いしたいと思います。市観光協会の方からいずれは市の方に寄付できるように努力をします。

市観光協会)

一昨日、県の議会観光連盟議員との話し合いが、先日県の議会事務局であり、議員が45名、行政が35名、一般が中原会長含めた観光業者など多くの方が参加したのですが。5月20日に日本遺産に認定されたと。でもこれが東京五輪に向けてスタートしたのに、なかなか進行が遅いということで、私の方から伝建地区3地区に対する外国人対応としてWi-Fiが設置されていない。県としては支援しないのかといったところ、クレイトンハウスの方々もAIとかバーチャルでやりたいというなかに、Wi-Fi環境がなければ使えないという意見が何社か出て、県としては検討しますというふうに言ったのだけでも。

観光客の減というのは、県もどこの市町村も減でした。一番多かった減だったのは指宿市さんだったかな。知覧では武家屋敷が8月で言えば前年比43%の減、霧島市も減が多かったと。とにかく県全体で減。皆で出していく、発信していくということが重要ではないかと。観光客が今のところ増えるという見込みは私のところでは立っていません。どこもでしたけれど、韓国も中国も減。先月仙巖園さんでもやはり減と、韓国、中国からは減っているということでした。

観光協会が成り立つためには、観光客を呼び込む。一番下だと思ってこれから先の目標に何を立ててどうやっていくかというのは、会長がおっしゃるように事務局をもって、事務局から配信をするという活動を進めていかないと遅れていくのかなという危惧はしています。

市観光協会T)

なかなか市になってから長い間、地区的に観光産業は全く違う地にあるものですから結び合わなかったのですが、事務局長という方ができて期限を切ってくだされば動いてくると思う。お互いのいいところをみつけあ

って、紹介し合って、うまい流れに乗れるように。3つの昔の町が一緒になるというのは政治経済では難しいかもしれないが、流れをつくる人が1人でもいれば、その人の発想やアイデアが3つの団体の今までのものを吸い上げていくので、そこでいい流れになっていくのではないかなと私は思っています。

市観光協会)

自分が川辺の人間なのですが、観光に関しては知覧がうらやましく思います。川辺やすらぎの郷で20年ほど働いているのですが、やすらぎの郷というところは観光客もいらっしゃるのですが、だいたい半径30キロ圏内の方々が車でいらっしゃる。土日やゴールデンウィークになると県外からの車がたくさんいらっしゃる。ここ数年すごく感じるのは、平和会館はどちらですか、武家屋敷はどちらですかという方がめっきり減りました。昔は土日になると道案内をしていたのですが、これは南薩縦貫道路が通った影響も多少はあるのでしょうか。先ほどうらやましいといったのが、観光バスが知覧に来てご飯を食べて買い物をしてというのが目につくのですが、そのバスがちょっとでも顚娃や川辺を通っていけないのかなというのをいつも思うのです。指宿から見るとなかなか立ち寄りきらないというのをいろんなところから聞きます。

やすらぎの郷も観光客ではないですけど、だいたい40万人から50万人のお客さんがいらっしゃいます。前もこの市観光協会の場で発言をしたのですが、僕らも意外と顚娃の観光案内ができない、勉強不足。そういう案内板とか、パンフレットとか、会長が言うように問合せ先、情報提供、バスの企画などもできるのではないかと。

先日、うちで川辺ではぶどうが取れないので、金峰町の方のぶどうを持ってきてもらったのですが、その方がぶどう狩りをしていて、そのチラシを貼っていたのです。一昨日お客さんが事務所にいらっしゃって、この間置いていた金峰のぶどう狩りはまだしているかと聞かれた。そのとき生産者に連絡先を聞いていなかったなと思って、ネットで「金峰 ぶどう園」と調べたらトップに南さつま市の観光協会が出てきて、そこに電話をしたらすぐ教えてくれました。一番トップにそういうのがあると、我々小さいところで観光案内していますが、そういうところで円滑に情報提供ができるのだと思っています。

10年経ちますので、観光バスもぐるぐる巡るようになっていけばいいなと思っています。

会長)

総括すれば市の観光協会があって事務局長がいて、例えば事務局ができるまでは問合せとか、地区ごとにイベントをするときにも横の連絡等が取れるわけですね。商工会が昔ながらの組織でやっていますから、地区ごとに市商工会がもちろんありますし、地区ごとにそれなりに充実した運営をされているようですから、ぜひ観光協会も事務局長をおいていただいて、また3地域とも密な連絡を取りながら各地域のイベント、観光資源の発掘をして多くの観光客を引き寄せたいという風に考えております。

市観光協会)

茶業課でも今後2年後を目途にして南九州市の観光ルート案内というのを策定するというので昨夜出て、〇〇さんでしたっけ。地域おこし協力隊だったあの方に企画案内をしてもらって、現在、潁娃コース、それから菊永コース、色んなコースがつくってあったのだけど。お茶だけでは来ないから色んなものと抱き合わせてコースを作らないと人は来ないということで話し合いをした。同じようなことをやっているのだったら、茶業課がやるのか観光課がやるのか。そうしないと2つ3つはできてしまう。2年後くらいにはつくるということで、インスタ映えする写真風景は今年中にお茶業者さんが集めてインスタでアップするというので確定しました。

知覧だったら知覧観光協会で作成した情報、文章等は各施設さんが各々のホームページに全部掲載してあるはずですよ。さくら館が英語案内場所だったか、その認証を取ったといわれたのですぐ各施設さんでもホームページの中で南九州市の知覧に外国人通訳場所がありますと載せているはずなので、共通するアプリとかホームページを使って飛ばしていただければ観光客も見ると思うので、新しくアップしていただければと思います。

総務課長)

事務局長の設置してほしいという話ですが、場所とかどのような運営とか構想があるのでしょうか。

会長)

事務局長の設置が決まっていなくてもあって、まだ場所は決まっていない。一般的な話として、事務局長にはできれば市役所OBの方で商工観光に一時的に席を置かれた方を、全然経験のない人でもいいのだけれども、近隣の観光協会とか、旅行エージェントとの接点も出てくるでしょうから、私個人としては市の職員を定年と同時に又は定年された市役所OBを1期5年くらいでなっていて、うまく流れができてくれればいいのかと個人的な考え方があります。

場所はまだ決まってはいませんが、できればみんなが行きやすいような車は何台かおけるような所がいいでしょうし、市役所にいつまでも間借りはできないですから。光熱水費とかタダにしてくれとか。市役所とすれば事務局長の銭は出してないとか言われるかもしれないかもしれませんが、事務局長は課長ですし、係長は事務局にいますから。二人のもらっている給料の3分の1、5分の1くらいは観光協会に使ってもらっているのです。観光協会の仕事をしてもらっている間は、自分の仕事ができないわけですから。

商工観光課長)

今日の会議というのはすごく大きな意義があったのですが、3年間という期限をいただいたので、その一步が大きな責任というのを持たされる部分もありますので、私たちも会長さんを含めこのメンバーでやっていければと思います。

市観光協会)

諸々については3年ぐらいの目安でやって法人化できるぐらいの組織にして市観光協会の意識を新たにしていけるのが我々の責任でしょうし、それに向けて頑張りたいと思います。議会もあるし、その辺の議決、承認も必要でしょうけど、大変でしょうけどよろしくお願いします。

会長)

一般社団法人化しないと委託事業も受けられないとすれば、事務局長を設置いただいて、3年以内にと

副市長)

一般社団法人にしないと委託事業を受けられないということではなくて、組織自体がしっかりしていないと、ということなのですよね。

市観光協会)

法人化しないと銀行とかにお金を借りてくることができないので、法人化は必要になってくる

市長)

事務局長もそうですけど、人を見つけることが大事だと思いました。動ける人を、役員の方々がこういうふうに行っているのだとしっかりとした組織として動ける人を確保することが一番大事なんじゃないかなと思います。役員の方々は各会社のオーナーであったりして動けないでしょうから。そこをお願いします

市観光協会)

市の方でも推薦できるような方がいらっしゃったら、ぜひ市観光協会にご紹介いただければと思います。

進行役)

それでは、対話のテーマにつきましては、事務局長についてはぜひ配置してほしいということで市の方も承認いただきました。それに伴います財源確保についてもご理解いただきまして、市の方も協力していきたいということです。市観光協会も中身を詰めていってまた市と相談をしていければと思います。最後に、市長に一言いただきたいと思います。

市長)

観光協会と市も一緒になって協力をしていくということで、3年後かその辺りには法人化をしていくというような気持で、それと観光客も減っているとき、厳しい時代だと思いますけど、どうやって食い止めるか、入込客数を増やして、向上していくかはこれからが大事だと思います。そのために協力していただければ。南九州市にはいい資源がありますので、ぜひ観光客誘致を図っていければと思います。